

一般廃棄物中間処理施設整備に関する説明会 開催記録

徳島市が整備を計画している新しい一般廃棄物中間処理施設（ごみ焼却施設・リサイクルセンター）について、事業へのご理解を深めていただくため、建設予定地の災害リスクの検証結果や整備スケジュールの変更などに伴う施設整備基本計画の見直しなどに関する説明会を開催しました。

1 日 時

【第1回】令和7年5月22日（木）18:30～19:30

【第2回】令和7年5月24日（土）10:00～11:10

【第3回】令和7年5月24日（土）13:30～15:10

2 場 所

徳島県立東部防災館おきのすインドアパーク 2階 イベントスペースA

3 参加者

○ 市側

市長、第一副市長、環境部長、環境部副部長兼環境施設整備室長、室長補佐、担当係長2人、担当主査1人、担当技師1人

○ 市民側（徳島市に在住・在勤・在学の方など）

【第1回】27人

【第2回】20人

【第3回】16人 合計 63人

4 説明会の概要

- (1) 市側出席者紹介
- (2) 市長あいさつ
- (3) 事業の経緯及び概要説明
- (4) 質疑応答
- (5) 市長あいさつ

5 質疑応答の概要

別紙のとおりです。

なお、個人の特定につながる情報については、削除するなど加工した上で、公開しています。

質疑応答の概要

○ 第1回（5月22日）

ご意見・ご質問	本市の回答
焼却炉の維持管理状況（焼却炉の温度や煙突の排気ガスの成分など）をウェブ上に公開し、リアルタイムで確認できるようにしてはどうでしょうか。	ウェブ上の公開がどこまで実現可能か現時点では分かりませんが、リアルタイムで計測するデータは外部の方も見られる形で公開していきたいと考えています。
建設予定地がなぜマリンピア沖洲になったのでしょうか。	建設予定地については、①徳島市の土地であること、②マリンピア沖洲が都市計画上の工業地域であること、③交通のアクセス等が良いことなどを総合的に評価し、選定しました。
工費はいくらでしょうか。	現在、施設整備基本計画においては、整備費用を456億円としています。ただし、この金額は国の交付金等も含めた金額です。
北島町のごみを受け入れることで、北島町からはいくらお金が入ってくるのでしょうか。	北島町とは、建設費を人口で按分した金額を負担いただく方向で協議しているところであり、徳島市の1割弱程度の金額を負担いただくことを検討しています。
交通量が多くなるので、ごみ収集車の通行は、午前9時頃や午後5時頃は控えてもらいたいです。	ごみ収集車の通行量が多くなる時間帯としては、午前10時～午後2時頃を想定しています。
津波が発生したときに、ごみ処理施設は避難場所になるのでしょうか。	津波が発生したときに避難できる場所として整備します。 また、マリンピア沖洲で働いている方が帰宅困難となった際の一時滞在場所とすることも検討しています。
説明にあった津波シミュレーションは、地盤沈下を考慮したものでしょうか。	県が想定している大きな地盤沈下も考慮したものです。
マリンピア東端の津波の想定が5メートルですが、盛り土は2メートルで大丈夫でしょうか。	盛り土について、現在は2メートル程度としていますが、想定外の事態に備えて、もう少し上の高さも含めて検討したいと考えています。
北島町のごみを受け入れる場合、吉野川の堤防を通過して搬入すると思いますが、帰りに生活道に多くの車が入ってくるのではないですか。	北島町のごみの搬入ルートはまだ結論が出ていませんが、市議会からご意見のあった高速道路を使用した搬入出の可能性等についても、北島町に伝えています。
広域整備を計画していた飯谷のときと比較して、予算はどの程度安く、あるいは高くなったのでしょうか。	施設規模は縮小していますが、物価上昇等の影響があること、また、当時の事業費に用地の取得や周辺環境整備等の費用が含まれていないことから、現時点では明確に比較ができません。 なお、当時の施設整備費を今の物価で試算すると約600億円、現在の施設整備費は456億円であり、規模が小さくなった分、金額は低くなっているものと考えています。

○ 第2回（5月24日 AM）

ご意見・ご質問	本市の回答
東日本大震災のとき、マリンピア沖洲から避難してくる車で大渋滞が発生したので、津波が発生したら、そういった車が搬入出の邪魔になってしまうのではないのでしょうか。	地震発生後1～2週間でまずはごみの受け入れができるように、ごみを搬入して施設を稼働できるような導線を確保したいと考えています。
海に近づくにつれて液状化の程度は大きくなると思うのですが、搬入出ルートにある道路は無事なのか、もっと範囲を広げて示してもらいたいです。	建設予定地の近くの道路では、徳島県が平成30年度から令和2年度にかけて、液状化対策の工事を実施しています。また、マリンピア中央の連絡道路はボックスカルバートのため、崩落の可能性は低いと考えています。 発災後すぐにごみを収集するのは困難と思いますが、避難所等から出るごみを少しずつでも収集・搬入し、施設を稼働できるようにしたいと考えています。
北島町のごみを受け入れることで、施設の整備費用や通行車両の増加、整備スケジュールの遅延など、徳島市に余分な負担がかかると思います。 色々なデメリットがあり、東西環境事業所の老朽化も進む中で、なぜ処理を引き受けるのでしょうか。	ごみ処理については、環境省から自治体に対して、広域化・集約化による安定的かつ効率的な廃棄物処理体制を作るよう要請がされており、施設の老朽化の問題は北島町も同様です。 徳島市としては、3月に申し入れがあったものを6月議会で結論を出すということで、なるべく協議に時間はかけないよう留意して進めています。
ごみ処理施設の搬入出車両の想定台数は279台ということですが、子どもの近くを通ることを考えると心配です。	事故などを防ぐため、なるべく小中学校の付近に集中しないようなルートを設定しており、午前10時～午後2時頃に、279台のうち約50台（1時間あたり約10台）が小学校の前を行き来する見込みです。 また、今後、周辺道路の状況が変わる場合は、見直しも検討したいと考えています。
高効率発電を行うとありますが、作られた電気はごみ処理施設内でのみ使用するのでしょうか。	現在の計画では、高効率発電による発電量は一般家庭の約8000世帯分に当たる量となっています。 施設内の電気を賄うのが第一ですが、余った分は売電する予定であり、年間数億円の収入を見込んでいます。
北島町との広域処理になると、国の交付金をもらえるようになるのでしょうか。	国の交付金については、徳島市単独でも交付されるものであり、北島町との広域処理になっても条件が変わることはありません。
ごみの発生する市内中心部の端のマリンピアで処理するのは、非常に効率的だと思います。飯谷とマリンピアとを比較すると、マリンピアの方が運搬費用は安くなっているのではないのでしょうか。	マリンピアの方がごみを効率的に収集できますが、現在と比較して経費が大きく変わることは想定していません。

ご意見・ご質問	本市の回答
費用対効果を明確に説明できるようにしておいたほうが良いと思います。	施設の基本設計がこれからですので、現時点で明確にお答えすることは難しいですが、事業を進めるにあたっては、可能な限り効率化を図ってまいります。
北沖洲は、夏は南東の風が非常に多くて強いので、何らかの影響があると思います。 補償という考え方ではないのですが、供用の温泉を施設内に作ってもらえないでしょうか。	現在のところ、施設内に温泉を作ることは計画していませんが、地域の方々のご要望をお伺いしながら、可能な部分については対応していきたいと考えています。

○ 第3回（5月24日 PM）

ご意見・ご質問	本市の回答
施設整備にあたっては風向きも考慮しているのでしょうか。	風向きについては、徳島地方気象台のデータを用いた事前調査を行っていますが、今後、環境影響評価手続きの中で、実際に機械を設置して調査する予定です。 また、プラットホーム出入口にエアカーテンを設置すること等により、臭いへの対策も行う予定です。 排ガスについては、フィルターや触媒等により有害物質を除去するとともに、測定値をリアルタイムで公開できるようにしたいと考えています。
他都市では、ごみ処理施設の余熱を活用した温泉を近隣住民が使用でき、回数券を配布する事例があるようですが、そういったことは検討していないのでしょうか。	現在のところ、施設内に温泉やプールを作ることは計画していませんが、地域の方々にこういった貢献ができるのか、ご要望をお伺いしながら具体的な検討をしたいと考えています。 施設で発生した余熱については、基本的には発電に回すことを考えており、一般家庭の約 8000 世帯分に当たる発電量を見込んでいます。
小学生がごみ処理施設に見学に行くことができますが、実際にごみを出すことができる大人に来てもらって、ごみの現状等を知ってもらうほうが良いと思います。 資料には環境啓発・学習機能とありますが、パネル展のようなものは市民に響かないと思います。	環境学習施設については、一般の人も来ていただくことを想定しています。 ごみの処理の現場を見学していただくだけではなく、分別の仕方ははっきり理解いただけるような機能をもたせるなど、一般の方も気軽に来ていただけるような仕掛けを含めて企画していきたいと考えています。
他都市ではごみ袋を有料化し、焼却炉の維持管理費に充てているところがあります。 有料化することで、自分たちがごみを出すことの責任を考える機会を持つことができますし、指定ごみ袋の方が市販のごみ袋より有害な煙が少なく、環境にも良いと思うのですが、有料化は検討しないのでしょうか。	ごみ袋の有料化は、ごみの減量等、さまざまな効果が期待できる方策であり、検討すべき課題であると認識しています。 徳島市として何が最善なのか、色々な方と議論し、合意形成を図っていく必要があると思いますので、今後、他都市の事例を調査・研究しながら検討していきたいと考えています。

ご意見・ご質問	本市の回答
専門家の災害リスクの評価について、楽観的な内容ではないと思いますし、市は都合の良いところだけを受け取っているように思います。十分な調査と対策をして初めて安全だと言えると思いますが、マリンピア全体が安全だという説明にはなっていません。また、その調査と対策をする余裕があるのかも疑問です。 飯谷よりもマリンピアのほうが災害のリスクは高いと思いますが、なぜ飯谷でそのまま行うのではなく、突然、マリンピアに変更したのですか。行政が一度決定したことをこのように覆すのは、大きな誤りだと思います。	飯谷町の候補地に施設を建設した場合、土砂災害警戒区域等に指定される見込みであるとの調査結果を受け、代わる適地の調査を行っていたところ、公共下水道の計画区域が縮小されることが決定し、北部浄化センター敷地の一部が候補地として浮上しました。 その後、当該候補地における津波浸水リスク等の検討を行った上で、市有地である点や都市計画上の適地である点などから、建設場所として適正が高いと判断しました。 しかし、継続して災害リスクへのご不安の声があったため、専門家にリスク検証を依頼したところ、一定のリスクはあるが対策も可能とのご意見をいただきましたので、現在の予定地で事業を進めていきたいと考えています。
災害リスクの検証結果について、吉野川の河口の砂が動いてマリンピア北側が危ない点などが考慮されていないと思うので、もっと調べてもらったほうが良いですし、想定外が起こると思います。	有識者の方からも、想定外のリスクが否定できないことは指摘されていますので、今後、具体的な設計を行うにあたっては、より詳細な調査を行い、可能な限り安全なものとなるよう、十分な対策を行いたいと考えています。
ごみの減量化には多くのメリットがあるので、行政と市民が一緒になって、ごみの減量化を進めていくことが重要ではないでしょうか。 徳島市のごみ処理費用は全国平均の約 1.5 倍なので、全国平均まで減らすだけでも、13 億円程度の費用が削減できるのではないかと思います。	3R（リデュース、リユース、リサイクル）においても、ごみを減らすことが最も重要とされていますので、ごみの減量化の取り組みは非常に大切であると認識しています。 新施設の環境学習において、大人に対してアピールするような企画も重要だと思いますので、今後、検討したいと考えています。
ごみ処理について焼却する方法で進めていますが、生ごみだけを集めて堆肥化する方法は難しいのでしょうか。	堆肥化する方法は厳しいため、現在は焼却する方向で考えています。
飯谷は民有地でしたが、今の予定地は市有地であるという理由で、近隣住民の意見は関係なく、建設することが決定しているのでしょうか。 環境への影響や、今後の子どもたちへの健康面での影響などを考えると、マリンピアで建設することにはっきり同意するのは難しいです。	令和3年から、マリンピアを候補地として、議会や地域の方々にご説明しながら事業を進めてきており、現在は建設予定地として計画を進めています。 また、全国的にも、ごみ処理施設の周辺において健康被害は確認されておらず、本市の東西環境事業所も同様です。 ごみ処理施設は、健康被害や事故などがイメージされやすい施設だと思いますが、ご心配やご不安が払しょくされるよう、可能な限り情報を公表しながら、丁寧な説明に努めてまいります。
マリンピアでごみ処理施設を建設することについて、住民投票などを行う予定はないのでしょうか。	現在のところ、住民投票は予定していません。

ご意見・ご質問	本市の回答
地域住民に我慢してもらうのであれば、何かメリットが必要だと思いますが、住民の血液検査や身体検査の費用を無料にすることなどは検討していないのでしょうか。	ごみ処理施設が完成し、仮に何らかの健康被害が発生したということになれば、検査等を実施する可能性はありますが、前提として、健康被害が起こらないように施設を整備します。
他市町からのごみを引き受ける期限はあるのでしょうか。 石井町民なのですが、可能であれば広域で一緒にしてもらいたいです。	徳島市が広域整備から単独整備に方針転換してから年数が経ち、各市町は独自に動き出している状況です。 現在のところ、北島町以外の参加はありません。